

白子高校 PTA通信

No.97 2023.2 発行 三重県立白子高等学校 PTA

ご挨拶

PTA会長 片岡 聖子



こんにちは。PTA会長
就任から、あっという間に
時が経ち、間もなく任期が
終わる卒業の季節になりま
す。保護者の皆様におかれ
ましては、日頃よりPTA
活動にご理解ご協力をいた
だき、誠にありがとうござい

ます。

さて新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、三年が経ちました。「新しい生活様式」を探りながら「今まで通り」の日々を取り戻すことは、今の時点ではまだまだ難しいと思われます。しかし、昨年度出来なかったことが、心配しながらも実施出来たことはとても新鮮で嬉しく感じた1年間でした。

本年度のPTA活動におきましては、社会情勢を踏まえ、昨年度の経験を確認しつつ実施可能か検討し、前向きに取り組みました。規模縮小ではありましたが、今できる方法を模索しながら行事や活動が実施できたこと、皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

私たちの生活は一変してしまいましたが、やるべきことは毎日たくさんあります。そして、時と共にマスク生活を含め新しい生活様式は「やりにくさ」から「自分らしく」や「当たり前」になってきていると感じます。このことはPTA役員を経験し、制限のある中、行事に参加させていただくことで感じたことの一つです。また先生方や保護者等の皆様との交流も深まり嬉しく思っています。これからも白子高校PTA活動への皆様のご理解ご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。一年間ありがとうございました。

笑顔を一輪でも増やせるように

校長 山口 雅弘



会員の皆様には、平素より本校のPTA活動及び教育活動に格別のご理解とご協力を賜りまして、誠に有難うございます。今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止が前提となる中、PTA役員

の皆さんのご尽力で、YouTube 配信を活用した研修会や文化祭での献血バスの協力などが実施できました。様々な形でPTAの会員様や本校生徒のためになるPTA活動にご協力いただければと思います。

さて、今年度の東海地区高等学校PTA連合会愛知大会が令和4年6月17日(金)に名古屋市公会堂で行われました。これもまた、感染症防止のため各学校から1名との制限があり、私の方で参加させていただきました。その際の講演が子育て、教育を行う上で大変参考になりましたので、この紙面を借りてご紹介します。

講師の宮本 延春 さんは、作家であり元高校教師でもあり、「オール1の落ちこぼれ、教師になる」と題した講演でした。小学生の低学年からいじめが始まり、学校嫌いが勉強嫌いにつながり、中学ではオール1、いじめを苦に自殺未遂を経験します。中卒で働き始めるものの、16歳で母を、18歳で父を亡くし、天涯孤独となります。極貧の生活を経験し、23才のとき、あるきっかけで物理学に興味を持ち、夜間定時制高校へ進学し、名古屋大学に合格し、大学院まで進み、母校の教師となりました。現在は、自閉症の我が子をケアしながら、講演や執筆を行っている方です。

壮絶な経験をお持ちの方の言葉には大変重みがありました。いじめを受けていた小学生だった自分が求めていたものは、同感ではなく共感的理解だと述べられていました。「共感的理解」とは、価値観や育った環境が異なる相手について、相手の考え方や状況を、相手の心の基準で、理解しようとする態度をいいます。価値観の押し付けは避けて、あたかも自分が感じているかのように相手の話を聴くこ

とです。この共感的理解は、カウンセリングの基本ですが、これは家族の関係においてもとても重要ではないでしょうか。

『当たり前』の反対語は？というお話も印象的でした。『当たり前』ということは、「わかりきった、言うまでもないこと、当然」ですから、その反対語であれば「めったにない」つまり「有り難し」、「ありがとう」なのだそうです。元々、「有り難し」という言葉は、仏教に由来しているとされています。仏教の教えでは「私たちが日常で当たり前と思っていることも実は有り難い、まれなことであって、そこに感謝することが大切です」とされています。普段何気なく過ごしていると、特別してもらって嬉しいことには『ありがとう』とありますが、当たり前のことをしてくれても『ありがとう』を言える人は少ないと思います。宮本さんは、毎日最低5回は「ありがとう」という言葉を使ってください、とお願いしていました。感謝の気持ちは言わなければ伝わりません。身近な人から始めてみましょう。

宮本さんは17歳の時に大恩人に出会ったそうです。その後、24歳でアインシュタインと出会って物理学に興味を持ち、小学校3年のドリルから勉強を始めて、25歳で通信制高校に進学、そして名古屋大学に合格します。宮本さんは、なぜそこまで頑張ったのかを振り返るに当たり、自己肯定感の重要性について述べられていました。自己肯定感を高めるのに大切なのは小さな成功体験を積み重ねることで、それは、行動したこと(Doing)やその行為により得られたこと(Having)だけでなく、存在すること(Being)を一番大事にして心で抱きしめてほしい、とのことでした。

宮本さんは、「事実は一つだが見方は二つある」、つまり、一方からの見方だけでなく、その裏側から感じ取ることを大切にしてほしい。そして、「皆さまの周りに、笑顔を一輪でも増やせるように頑張りましょう」と話を終えられました。いくつもの教示が含まれた講演でした。皆さんにすべてお伝えできたわけではありませんが、日頃の自分を振り返る機会にしてもらえればと思います。

職員一同も、生徒一人一人の可能性を信じて、そのチャレンジを支援すべく教育活動に取り組んで

まいります。ご家庭におかれましても、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

研修会を終えて

第4回 三重県幼小中高 PTA 研修会

日時: 2022年10月4日(火) 14:00-16:00

場所: 三重県生涯学習センター2階 視聴覚室
(三重県総合文化センター内)

内容: 演題『宇宙開発という職業 ～人類の夢に挑戦する～』

講師 山中 浩二 様 JAXA 研究開発部門
第一研究ユニット長

〈講演内容〉

学生対象の講演内容で宇宙開発における夢のある仕事としてお話しを頂きました。

PTA書記 森 絵里

特にフライトディレクターの仕事について、このとりやはやぶさ2号、火星探査機はなされ、子ども達にとって魅力ある仕事と感じました。

地元桑名市の小中学校で特別授業と名古屋大学、東京工業大学などで非常勤講師も務めながら幅広く宇宙開発の魅力を伝えている方です。

質疑応答で「宇宙人って居るの?」については動植物的な命の存在はあるみたいですが、宇宙人の存在についてはまだまだ調査中であるみたいです。

今後も子ども対象の講演はして欲しいと感じましたし、人類を豊かにする仕事だと感じました。

ゴミバスターズを終えて

日頃は白子高等学校 PTA へのご理解とご協力ありがとうございます。毎年恒例行事となりましたゴミバスターですが、今年も終業式後に生徒と先生方、そして我々PTA 本部役員の総勢 329 人が参加いたしました。この日はクリスマス寒波到来で、昨年よりかなり風も強く寒い日となりましたが、生徒達は日頃お世話になっている白子地区内を1時間かけてゴミ拾い致しました。白子駅前の公園には、自転車の車輪だけが転がっていたり、空き缶や腐った弁当な

PTA 副会長 村木 尚哉

ど大人のモラルを考えさせるような粗大ゴミを目の当たりにし、生徒達は、ゴミを捨てる意識を見直す良い経験が出来たと思います。近年ではSDGsの取り組み等で、海岸清掃や河川に堤防の清掃活動が企業での参加も増えてきており、この日も白子の海岸清掃活動をしている団体さんの姿もみられました。最終的に集められたゴミの量は約500Kgでした。最後に、清掃活動に参加していただきました白子高校生さん、PTA 役員さん、先生方に感謝申し上げます。



「文化祭」

PTA 会計 富安 奈美

今年の文化祭は、コロナ禍ということもあり、一般公開とはなりませんでしたが、各学年の生徒さんも工夫を凝らし、大道芸やメリーゴーランド、カジノといった様々な出し物があり、見ていてとても楽しいものがありました。

私たち PTA 役員会も、今年は初めて献血車に来ていただきました。400ml の成分献血のみで、男性は 17 歳以上、女性は 18 歳以上と制限はありましたが、準備をして献血スタート。最初の献血協力者は、首元

の赤いリボンがとてもキュートな二人組の 3 年生男子生徒でした。廊下で声をかけると快く協力してくれました。受付をして問診を入力後、バスの中へ移動します。15 分から 20 分程度で献血は終わりました。その後も生徒さん、先生方、職員の皆様のご協力もあり、3 時間で 17 名の方が献血してくださいました。ありがとうございました。来年は 20 名を目標に頑張りたいと思います。



3 年生の進路の状況と今後の取り組み

進路指導部 中西 和弘

1 2 月 2 3 日現在の 3 年生の進路状況を報告させていただきます。

【就職】

職種別求人数：(学校へ持参、郵送されたもの中心)

- A：事務系 34 件 (昨年 27 件)
- B：販売・営業系 54 件 (昨年 53 件)
- C：技能・製造・現業職 285 件 (昨年 237 件)
- D：接客・サービス系 214 件 (昨年 194 件)

コロナ禍による採用抑制の反動から、技能・製造職を中心に求人数が大幅に増えました。人手不足で大手企業でも応募が充足しないという状況も出てきています。

今年度の学校斡旋による 1 次の就職希望者は、55 名 (男子 22 女子 33) で、1 次での合格率

は 90.9% でした。結果から考えると、多くの企業が、欠席が少なく、元気で明るい生徒を求めているということがわかります。

また、公務員では、警察官として 4 名 (三重県 3 大阪府 1) が内定しています。

【進学】

〈専門学校〉

合格者 58 名のうち約 85% が AO 入試で合格しています。AO 入試では多くの学校が 10 月 1 日から合格通知を出します。進学先が早く決まるというメリットはありますが、10 月中には学費の納入を求められますので計画的な学費の準備が必要です。

専門学校とはそもそも専門分野の知識と技術を身につけ、関係する職業に専門職として就職をするた

めの学校です。近年、エンターテインメント系の専門学校進学者が増えています。夢を追うのは素晴らしいことですが、専門学校に行きさえすれば誰でも夢が叶うわけではありません。卒業後の就職先や就職率も十分に調べたうえで、進学を考えてください。

〈四年制大学〉

総合型選抜で15名、指定校推薦で29名、公募制推薦で8名が合格しています。合格率は総合型が約70%、公募制推薦が50%でした。入試が多様化し、受験の機会は増えていますが、どの入試でも同じというわけではありません。それぞれの入試の特徴を理解し、自分に合った入試方法を選択して早期から対策することが合格につながります。

また、大学入学共通テストには4名の生徒が出席しています。

〈短期大学〉

総合型選抜で9名、指定校推薦で4名、公募制推薦で5名が合格しています。全国でも数少ない公立短大である三重短期大学には、昨年に引き続き公募

制推薦で全員が合格しました。

〈看護系〉

総合型選抜で1名、指定校推薦で8名（大学1、専門学校7）が合格しています。指定校推薦の基準となる評定平均値は学校ごとに異なりますが、今年度は大学で「3.7～4.2」の間、専門学校では「3.4～4.0」の間でした。指定校推薦は基準に満たなければ出席できません。人数も限られています。看護系希望の生徒は、絶対に看護師になるという強い意志を持って、全員が一般入試でも合格できる力をつけられるよう（特に数学ⅠA・国語を受験科目とする看護専門学校が多い）、1年生のうちから勉強する習慣をつけておいてほしいと思います。

最後に3年生の保護者等の皆様にお礼を申し上げます。

皆様のお子様の入学以来、3年間進路指導主事を務めて参りました。これまで仕事をしてこられたのは、皆様のご理解とご協力のおかげと、深く感謝いたしております。本当にありがとうございました。

卒業にむけて

3学年主任 古川 敦朗

医療従事者の方々・輸送に関わる業務の方々・それを支える家族の方々に感謝申し上げます。2022年も何かと多忙な日々が続いておりました。依然と続くコロナ禍の不安定な社会の中、多くの人に支えられながら、学校生活を過ごしていることに感謝申し上げます。合わせて、本校の教育活動にご理解頂き誠にありがとうございます。

さて、2022年の一年間を4つの“3年目”というキーワードとで振り返りたいと思います。今年の新語・流行語大賞特別賞の「青春って、すごく密なので」が選ばれました。文字通り高校生活は、たくさんの濃密な思い出ができる3年間です。今年度はその3年目となります。1つ目の“3年目”は、部活動です。1年目は先輩方から指導を受け、2年目は先輩と後輩をつなぐ役割を果たし、“3年目”は、チームのためにラスト数か月を全力で取り組み、引退を迎えます。今年も例年通り、4・5月から文化祭までの期間で多くの部活動が高校生活最後の部活動を迎え

ました。最後の大会・コンクール等への思いや周囲へ感謝を込め、プレー・演技・演奏する姿がとても印象的でした。今後は後輩たちに思いを託していきます。生徒からは「負けて悔しい」や「やりきった」など様々な声が聞けました。2つ目の“3年目”は学校行事です。依然としてコロナ禍の限られた状況の中ではありましたが、体育祭・クラスマッチ・文化祭と創意工夫を凝らしながら、場を盛り上げよう・最後の学校行事を楽しもうとする3年生の姿に頭が下がる思いです。例年多くの方々に見ていただけないことが、とても残念です。3つ目の“3年目”は、コロナ禍での入社・入学試験です。7月の三者面談で具体的な方向性を決め、夏休みはいよいよその準備期間になります。コロナ禍での“3年目”は進学は「入試制度変更から“3年目”と就職は「過去最も多い求人数」とも重なり、過去2～3年の動向の踏まえながら、準備をすることができたのではないのでしょうか。多くの先生に面接指導を依頼しに行く姿や教室

で志望動機を考える姿そして何より合格・内定が決定して報告してくれる姿は我々にとっても何よりの喜びとなりました。また、この後1月と2月に受験を控えている生徒もいます。納得充実した春を迎えられるよう、学年団とともにサポートしていきたいと思えます。

4つ目の“3年目”は教室の様子です。現在多くの教室では、卒業までのカウントダウンカレンダーが掲示されています。「卒業まであと〇〇日」を見るたびに、入学式からの様子を思い浮かべている今日この頃です。楽しそうな休憩時間・放課後・授業・時々参加する部活動・アルバイト・自動車学校への入校などを見ると、今のこの時期は「19歳0学期」であり、心技体ともに19歳へ準備期間として刻まれているのだと思えます。時間は皆に平等に流れ、いつか終わりを迎えます。そして“終わり=始まり”を意味します。新たな門出の前に子供たちの大切な時間を過ごしています。この16～18歳に関われ

たことに改めて感謝申し上げます。

ここまで、3年生になってからの状況を4つの“3年目”というキーワードでご紹介して参りました。残り少ない高校生活の一日一日を大切にしながら、最後まで充実した時間を過ごせるよう努力して参る所存です。一方で、生徒一人一人は卒業後、これまでの18年間よりはるかに長い人生を生きていきます。この先の人生では、これまで以上に自分で決断することが求められることは言うまでもありません。本校での3年間は生徒たちにとって、自分のことを自分で判断し、決断して行動する「自立した大人」に近づくための3年間となっていることを願ってやみません。何年後自分の人生を振り返りご家庭におかれましても引き続き、お子様の成長を見守っていただきますよう、どうぞよろしく願い申し上げます。

2023年も皆様にとって、良いお年になることを願っております。

北海道修学旅行

2 学年主任 瀬古 広毅

この原稿を書いている年末も、相変わらず新型コロナウイルス感染症の感染拡大が止まらないというニュースで持ちきりです。今年もまたコロナに振り回される一年になりそうです。

さて、9月に実施された高校3年間最大のイベントとも言える北海道修学旅行についてです。新型コロナウイルス感染症の影響で一年上の学年は2か月遅れで北海道から山梨へ行先変更、二年上の学年は9か月遅れの3年生の6月に伊勢に行先変更を余儀なくされています。春先の一日当たりの県内新規感染者数は5百名前後を推移してきましたが、7月中旬から一気に感染者数が増加し「第7波」に突入しました。夏休みに入ってもその勢いは衰えることなく、8月24日には4千6百名を超え県内過去最多を更新しました。県内の各高校では修学旅行の期日や行先を変更する学校が相次ぎ、本校でも検討する話し合いが何度も持たれました。しかし2百名を超える生徒数なので変更は容易ではありません。感染拡大の予測がつきにくいいため変更した期日や場所が現状より安全である確証はありません。熟慮の末、

予定通り決行することを決めたのは変更可能な期限ぎりぎりでした。

そうなる引率の我々には迷いはありませんでした。もちろん、万が一に備えて慎重に慎重を重ねて準備を進め、生徒の感染拡大につながる学校生活や現地での行動管理の徹底や、果ては現地で感染者が出た場合の備えも万全にしたうえでの出発となりました。

出発は9月14日。よく晴れた朝でした。残念ながら全員での出発とはなりませんでしたが、参加した生徒たちは元気いっぱいの笑顔で予定通りバスに乗り込みました。本来なら移動のバス内も楽しく過ごしたいところですが、大声での会話を控えることで感染拡大を防ぐことを生徒たちに求めざるを得ませんでした。しかし黙食を含め、どの生徒もそれを理解して我慢してくれたことが旅行中の感染者ゼロを達成することに繋がりました。初めて飛行機に搭乗する生徒が多かったせいか、空港の保安検査場では緊張感が高まりました。ここでも事前の注意事項を遵守してくれたのでトラブルは一切ありませんで

した。予定より早めに搭乗口まで進むと生徒たちのドキドキワクワクした様子が伝わってきました。緊張がピークに達した飛行機が飛び立つ瞬間の歓声はご愛敬。本州から約2時間のフライトを楽しみました。初日はウポポイ民族共生空間でアイヌの人々について学びました。事前学習の成果もあり熱心にメモを取りながら見て回る生徒が多く、こちらが感心させられるほどでした。その日宿泊したニセコのホテルの華やかさに驚きながら、美味しい料理を堪能して一日目を終わりました。

15日の午前中は北海道ならではの体験学習でした。急流の川をボートで下るラフティングや、森林に張り巡らされた樹上のコースでのツリートレッキング。スッキリ晴れた原野を自転車で走るシーニックライディングなどのスポーツ系では大きな歓声が止むことはありませんでした。また、ジャムやアイスクリームを北海道の新鮮な素材で作る体験や、砂をガラスに吹き付けて模様を描くサンドブラストに熱心に取り組む姿も見られました。午後からは人気の「白い恋人パーク」に。流行りの映えスポット満載のテーマパークで、はしゃぎながら友だちと写真を撮りました。そして夜はお待ちかねの札幌市内見

学。数人で班を作りそれぞれの班で事前に計画した札幌の街を散策。夕食も札幌ラーメンなどの北海道の味覚に舌鼓を打ちました。

札幌大通公園のホテルを出た最終日。ノーザンホースパークでは、目の前で見える馬の大きさに驚きながら乗馬体験などで北海道らしさを体験。そして新千歳空港へ。出発までの時間をお土産の品定めや最後の昼食を友だちらと楽しみました。

三日間お天気にも恵まれ北海道らしさが満載の修学旅行を楽しむことができましたが、大きなトラブルなく無事に帰ってくることができたのが最大の収穫でした。これは我々教員がどれだけ準備をしても、生徒や保護者の皆様の共通理解がないと得られないものです。何よりコロナ禍の生活の不便さに我慢しながら、「新しい生活様式」を遵守してくれた生徒たちに心から感謝したいと思います。

「未来の自分を創造する3年間」を目標にスタートしたこの学年も残すところあと一年です。卒業後の進路をイメージできるようになってきた者も多く見られるようになってきました。この修学旅行での体験が未来の自分を創造する一部になってくれることを願わずにはられません。

生活創造科ニュース

未だコロナ渦での活動となっておりますが、感染予防対策が定着してきたこともあり、昨年度に比較して、大変多くのコンクールや行事への参加依頼がありました。授業等で培ってきた力を発揮する場が復活するとともに、これまで堪え忍んできた3年生が大活躍する2学期となりました。産業教育振興に

関する研究文への取り組み、実技審査のあるコンクール、愛宕地区子ども食堂への協力など多岐にわたる活動で結果を出してくれました。

また、各学年とも各種検定試験が次々実施される中、集中して取り組み、自分の力を十分に発揮してくれました。

生活創造科の2学期以降の主な取り組み、コンクールの結果を紹介します。



表彰

「三重県おさかな料理コンクール」 ☆三重県知事賞



前列左から3人目

「イタリアンないわしグリル」 3年 村木彩乃 ☆

三重県代表として全国シーフード料理コンクールへの推薦応募となり、書類審査の結果、実技審査に進むこととなりました。(上位8名が実技審査となっています。)そして、1月8日東京での大会では、コンクール事務局特別賞を受賞しました。

「三重県高校生スイーツコンクール」

❖三重県知事賞 3年 池田 慈
「伊勢茶もちもち和風クレープ」❖



❖アイデア賞 3年 北川 光
「緑茶クリームあんぱん」❖



学科・家庭クラブ

- 9月 高校生活入門講座(ファッションショー・飾り切り実演)
- 10月 産業教育フェア参加(展示・即売など)
文化祭(マドレーヌ販売)
- 11月 県連家庭クラブ研究発表大会
(津リージョンプラザにて開催、1年生全員参加)
高齢者お弁当サービス (白子地区・寺家地区)



❖お弁当サービス❖



❖産業教育フェア即売❖

食彩コース

- 9月 2・3年 各種コンクール応募
- 10月 3年 陶芸講習会
3年 産業教育フェア (大徳屋長久さんコラボ菓子販売)
2日間でそれぞれ230個完売しました。



❖「抹茶クリームコロネ」❖



❖「伊勢茶みかん大福」❖

服飾コース

- 10月 3年 ウォーキング講習会
3年 ファッションショー (産業教育フェア・文化祭)
3年 イオンモール津南専門店とのコラボ (産業教育フェア)
- 11月 2年 デザイン画講習会



❖産業教育フェアコラボ企画
コーディネート❖

3学期のおもな予定

- 3年生テーブルマナー講習会(オーシャンテラス)
- ブーケアレンジ講習会 (2年服飾コース)
- 1年生職業ガイダンス
- 日本料理講習会 (2年食彩コース)
- 3年生卒業発表会(オーシャンテラス)

クラブ活動 近況報告

卓球部

【部員数】 男子 3年4名・2年6名・1年3名

女子 3年2名・2年7名・1年2名

【活動場所】 男子 体育館・女子 西飯卓球センター

【活動日・時間】 月～金 16時～19時

土日 9時～13時

☆県総体（4月・5月）

男子ダブルス

◎宮崎礼央(3-3)・春日井健真(3-3) 優勝

○山野煌介(1-4)・林誠也(1-6) 第3位

女子ダブルス

◎山脇ゆき(3-4)・由井心菜(2-3) 優勝

◎相坂桃子(3-1)・竹原優菜(2-4) 準優勝

○大畑ひなた(2-1)・西村玲美(1-5) 第4位

男子シングルス

◎宮崎礼央 準優勝

◎松尾尚紀(2-3) 第3位

◎春日井健真 第4位

○山野煌介 第5位

○小倉裕貴(3-4) 第6位

○中野圭斗(2-4) 第7位

○野島翼(2-5) 第8位

女子シングルス

◎山脇ゆき 優勝

◎由井心菜 準優勝

◎竹原優菜 第3位

○西村玲美 第6位

男子学校対抗

◎優勝(3年連続12回目)

女子学校対抗

◎優勝(27年連続36回目)

◎はインターハイと東海総体に出場

○は東海総体に出場



☆第69回東海高校総体（6月）

女子シングルス

山脇ゆき 準優勝



女子ダブルス

山脇ゆき・由井心菜 第3位

男子学校対抗

第3位

女子学校対抗

準優勝

☆第77回国民体育大会三重県選考会（7月）

少年男子

宮崎礼央 第2位

少年女子

山脇ゆき 第1位

由井心菜 選考会免除

※以上の選手は三重県代表チームに選出

☆第74回中部日本卓球選手権大会（7月）

女子ダブルス

山脇ゆき・由井心菜 第5位

ジュニア男子シングルス

山野煌介 第9位

ジュニア女子シングルス

由井心菜 第5位

竹原優菜 第9位

☆愛媛インターハイ（7月・8月）

男子ダブルス

宮崎礼央・春日井健真 出場

女子ダブルス

山脇ゆき・由井心菜 4回戦進出

相坂桃子・竹原優菜 出場

男子シングルス

宮崎礼央 4回戦進出



松尾尚紀 出場

春日井健真 2回戦進出

女子シングルス

山脇ゆき 3回戦進出

由井心菜 3回戦進出

竹原優菜 出場

由井心菜 4回戦進出

男子学校対抗 2回戦進出



女子学校対抗 3回戦進出



☆三重県高校卓球選手権大会（8月）

男子ダブルス

山野焯介・林誠也 優勝

中野圭斗・松尾尚紀 準優勝

古田諷(2-3)・高橋陸(2-3) 第3位

女子ダブルス

由井心菜・松尾和奏(2-1) 優勝

竹原優梨(1-1)・西村玲美 第3位

男子シングルス

松尾尚紀 準優勝

中野圭斗 第3位

山野焯介 第3位

女子シングルス

由井心菜 優勝

竹原優梨 準優勝

☆後藤杯(名古屋オープン)（9月）

女子シングルス

山脇ゆき 第5位

ジュニア男子シングルス

古田諷 第9位

ジュニア女子シングルス

由井心菜 第9位

竹原優梨 第9位

☆全日本卓球選手権予選兼大阪選手権予選(9,10月)

男子ダブルス

○宮崎礼央・春日井健真 第5位

女子ダブルス

◎山脇ゆき・中村華子(卒業生) 第1位

○竹原優菜・大畑ひなた 第3位

男子シングルス

○宮崎礼央 第7位

女子シングルス

◎由井心菜 第1位

◎山脇ゆき 第2位

ジュニア男子シングルス

◎山野煌介 第2位

○中野圭斗 第4位

○松尾尚紀 第5位

ジュニア女子シングルス

◎竹原優菜 第1位

○由井心菜 第5位

○竹原優梨 第6位

※◎は全日本選手権と大阪選手権に出場

○は大阪選手権に出場

☆第77回とちぎ国民体育大会(10月)

少年女子(選抜チーム)

山脇ゆき 由井心菜 第5位入賞



☆第62回東海卓球選手権大会(11月)

女子ダブルス

山脇ゆき・森本枝里(卒業生) 第5位

ジュニア女子シングルス

由井心菜 第5位

男子シングルス

宮崎礼央 第5位

女子シングルス

山脇ゆき 第5位

☆三重県高校新人卓球大会(11月)

男子学校対抗 優勝

女子学校対抗 優勝

※男女とも東海新人戦に出場



☆三重県卓球選手権大会兼東京選手権予選(11月)

ジュニア男子シングルス

山野煌介 準優勝

ジュニア女子シングルス

○由井心菜 優勝

土井華楓 第3位

竹原優梨 第3位

女子ダブルス

松尾和奏・西村玲美 第3位

由井心菜・竹原優梨 第3位

女子シングルス

○山脇ゆき 第5位

※○は東京選手権に出場

☆全国選抜東海選考会兼東海新人戦(12月)

男子学校対抗 第3位



女子学校対抗 第5位



※男女とも3月に開催される全国選抜に出場決定

野球部

【部員数：男子10名・女子1名】

【活動場所：グラウンド】

【活動日・時間】 平日 16時～19時

休日 1日練習試合

『夢叶うまで挑戦 ～未来を拓く～』

をチームスローガンとして、新チーム発足後は少ない人数ながら、すでに52試合をこなしました。途中いくつかの困難もありましたが、それらを乗り越え部員一人ひとりが大きくたくましく成長しています。

最近では、ランニングを中心とした持久力の強化と筋力アップのための体力づくりを行うとともに、野球ができる環境に感謝を込めて、グラウンド整備にも力を入れています。また、今年度も継続して野球以外の活動も経験させ、地域の役に立てる部員を育てたいと考えています。

毎年の目標ではありますが、これらの充実した活動で得たことを糧に、白子高校創立以来初となる甲子園出場を果たし、皆様に勇気と感動を届けたいと少人数ながら本気で取り組んでいます。今後ともご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

【公式戦の結果】

★第69回春季東海地区高等学校野球三重県大会

鈴鹿地区予選

※1次予選

3月20日(日) ○白子4-3 久居

3月21日(月) ●白子2-11 鈴鹿

※2次予選

3月27日(日) ○白子8-1 名張青峰

3月30日(水) ●白子2-3 高田

◎第104回全国高等学校野球選手権三重大会

※1回戦

7月11日(月)

●白子0-2 神村学園高等部伊賀

◆第73回秋季東海地区高等学校野球三重県大会

鈴鹿地区予選

※1次予選

8月14日(日) ○白子6-4 津工業

8月20日(土) ●白子1-12 津商業

※2次予選

8月24日(水) ●白子4-11 近大高専

※3次予選

8月27日(土) ●白子0-7 白山



女子バレーボール部

【部員数】1年5名 2年8名 3年3名 計16名

【活動場所】体育館

【活動日・時間】 平日 16時～19時

土日 練習 or 練習試合

【活動状況】 高校からバレーボールを始めた生徒が半数いて、経験不足のためまだまだ実力不足です。怪我などもあり順調なわけではありませんが、個々人の成長の姿を身近で感じることができた1年でした。最近は楽しみながらも勝敗に拘る姿勢が少しずつ表れてきました。練習試合や公式戦でも少しだけ勝てるようになってきました。日々の活動を大切にしながらもう少し粘り強さを身につけて、周りから応援していただけるようなチームにしていきたいと思います。

春季大会

4月23日(土) 1回戦 白子2-0 大橋学園

2回戦 白子0-2 松阪商業

県総体

5月28日(金) 1回戦 白子0-2 宇治山田

夏季中勢大会

8月12日(金) 予選リーグ 白子2-0 神戸

白子0-2 鈴鹿

決勝トーナメント 白子0-2 久居

高校選手権

11月5日(土) 1回戦 白子2-0 朝明

2回戦 白子0-2 四日市商業

剣道部



【部員数】 22名 (男子13名、女子9名)

【活動場所】 白子高校武道場

【活動日・時間】 平日16時～18時30分
休日9時～12時

2022年1月開催の三重県高校剣道新人大会で男子団体優勝、女子団体5位となりました。2月に県代表として男女共出場予定だった東海高校選抜大会はコロナ感染拡大により大会中止となりましたが、3月の全国高校選抜大会に男子が県代表として出場しました。本校としては5年ぶりの出場となります。全国の舞台で試合をし、他校から学ぶことができ多くあり貴重な経験をすることができました。

4月以降は男女共県総体に向けて、チーム一丸となりより一層猛練習を行いました。特に3年生は高校生活最後の大会に向けて、日々の練習をよく頑張りました。その結果男子が団体・個人で東海総体に

出場することができました。この大会で3年生は一区切りとなりましたが、剣道部員としての自覚を持ち進路の実現に向けて、受験勉強や面接練習に取り組みました。進路が決まった後も練習に参加してくれています。現在は1, 2年生を中心に県外の強豪校との遠征も行い、1月末の県高校新人大会での優勝を目標に冬場の練習に取り組んでいる所です。

2022年の大会結果

- * 三重県高等学校剣道新人大会
 - 男子団体：優勝
 - 女子団体：5位
- * 東海高等学校剣道選抜大会
 - 男子団体：大会中止
 - 女子団体：大会中止
- * 全国高等学校剣道選抜大会
 - 男子団体：出場
- * 三重県高等学校剣道春季大会
 - 男子団体：準優勝
 - 女子団体：5位
- * 第70回全日本都道府県対抗剣道優勝大会
 - 小林聖：ベスト16
- * 三重県高等学校総合体育大会
 - 男子団体：準優勝
 - 男子個人（堀江賢人）：5位
- * 東海高等学校総合体育大会
 - 男子団体：出場
 - 男子個人（堀江賢人）：出場
- * 玉竜旗高校剣道大会
 - 男子団体：出場（小林聖：敢闘賞）
- * 国体東海ブロック大会
 - 小林聖：3位
- * 三重県高等学校剣道学年別大会
 - 男子個人（小谷侑矢）：5位
- * 三重県高等学校剣道秋季大会
 - 男子団体：準優勝
 - 女子団体：5位

女子バスケットボール部

【部員数】 1年4名 2年2名 3年6名 計10名

【活動場所】 体育館

【活動日・時間】 平日16時～18時15分

(火曜日休み)

休日 練習 or 練習試合

【活動状況】 少ない人数ですがバスケット好きが集まって仲良く元気に頑張っています。高校からバスケットをはじめる生徒もいて、各自がそれぞれの課題を意識して取り組んでいます。バスケットボールを通じてプレイだけでなく、挨拶や周囲への気配りなど社会に出たときに活躍できる人を目指して頑張っています。

○総体予選

1回戦 白子 43-109 津西 4月24日

○選手権大会三重県予選会 9月10, 17日

1回戦 白子 80-29 相可

2回戦 白子 39-80 久居

○三重県U18バスケットボールリーグ女子3部B

男子バスケットボール部

【部員数】 1年6名 2年8名 3年8名
(マネージャー3年1名1年1名)

【活動場所】 体育館

【活動日・時間】

平日 16時～19時

土日 練習(Am or Pm) 練習試合(1日)

【活動状況】 1月に行われる新人戦で中勢地区突破・県大会ベスト4になれるよう、チーム一丸となって頑張っていきます。応援よろしくお願ひします。

○令和4年度第75回全国高等学校バスケットボール選手権大会三重県予選会 ベスト16



ダンス部

【部員数】 1年8名 2年8名 3年5名 計21名
(男子2名女子19名)

【活動場所】 体育教官室前駐車場・ダンス室

【活動日・時間】 火～金 16時～18時
土 9時～12時

【活動状況】

・9月には3年ぶりに「すずフェス」が開かれ、参加をしました。コロナ禍で中止となっている間もすずフェス参加経験のある先輩がノウハウを伝授してくれたおかげで、全員が初めての参加でしたが、元気に踊りきることができました。

・12月は高体連主催のダンスフェスティバルに参加し、総合文化センター大ホールで発表しました。

女子テニス部

【部員数】 1年8名 2年2名 計10名

【活動場所】 本校テニスコート

【活動日・時間】 月～金 16時～18時

【活動状況】 まずは個人戦での県大会本戦出場、団体戦での県ベスト16以上を目標に、毎日の練習に励んでいます。先輩から受け継いだことを元にして、生徒自身で練習メニューを工夫しています。テニス経験者はいませんが、ソフトテニス経験者、他競技経験者が一緒に自主的に取り組んでいます。

男子テニス部

【部員数】 1年6名 3年8名 計14名

【活動場所】 本校テニスコート

【活動日・時間】 月～金 16時～18時

土 8時30分～12時

【活動状況】 個人戦での県大会本戦出場、団体戦での県ベスト16以上を目標に、学業との両立を図りながら毎日の練習に励んでいます。専門の指導者がいない中、生徒自身で練習メニュー等を工夫し、自主的に取り組んでいます。

<県高校総体>

団体 1回戦 白子●1-2名張

<県高校選手権大会>

シングルス 3年4名出場

団体 ベスト8

1回戦 白子○2-1 鈴鹿高専

2回戦 白子○2-1 伊賀白鳳

3回戦 白子●0-2 津東

<県高校新人大会>

団体 1回戦 白子●0-5 四日市南

サッカー部

【部員数】 1年9名 2年5名 3年5名 計20名
マネージャー 1年1名

【活動場所】 グラウンド

【活動日・時間】 月～金 16時～休日8時30分～
週末は公式戦、リーグ戦、練習試合

【活動状況】 今年度、公式戦で勝利を掴むことができず、悔しい結果となりました。チーム、個人としてたくさんの課題がありますが、それぞれが成長し、今後の各大会でよい結果を残せるよう練習に励んでいます。また、学校や地域から応援されるチームになれるよう努力を続けていきますので応援よろしくお祈りいたします。

☆全国高校サッカー選手権 三重大会

1回戦 白子 Vs 四日市南 1-2

☆高円宮杯 U18 三重サッカーリーグ 2部

0勝3分15敗 (10位/10チーム)



陸上競技部

【部員数】 1年5名 2年5名 計10名

【活動場所】 本校グラウンド

【活動日・時間】 月～金 16時～18時
土日 各大会参加

【活動状況】

*三重県総体 5月28日 100m出場

*鈴鹿陸上競技大会 7月30日、31日

100m、4×100mR出場

*三重県新人陸上大会 9月17日、18日

100m、200m出場

少人数で頑張っています。

ハンドボール部 (男女)

【部員数】 男子 1年7名 2年5名 3年11名
女子 2年5名 3年4名

【活動場所】 グラウンド、校外体育館

【活動時間 (基本)】 平日16時～

土曜または日曜9時～

【活動状況】

☆三重県高等学校総合体育大会

5/27 サオリーナ

男子 vs 名張 41-10

vs いなべ総合 13-32

女子 vs 名張 14-19

☆県高校新人選手権大会

予選リーグ 11/3,12,13 サオリーナ

男子 vs 海星 18-28

vs 高田 22-19

vs 稲生 20-31

リーグ3位敗退

女子 (白子・名張 合同チーム)

vs 暁 7-29

vs 四日市四郷 12-26

リーグ3位敗退

☆全国高校選抜大会・東海大会県予選

初戦 12/24 サオリーナ

男子 vs 津工業 19-23

女子 (白子・海星 合同チーム)

vs 津東 13-14

自分たちらしいプレーができるよう男女ともに頑張っています。両チームとも、この半年間での成長にはめざましいものがありました。今後は、技術や体力面での力量アップはもちろん、チームとしていかに意識を高め合えるかが大きな課題となっています。監督やコーチの温かく丁寧なご指導を励みに、努力を重ねていきたいと思っています。引き続きの応援を、どうぞよろしくお祈りいたします。

写真部

【部員数】 1年4名 2年9名 計13名

【活動場所】 現像：部室 撮影：校内

【活動時間】 不定期(行事に合わせて活動)

【活動状況】 クラスマッチ・高校生入門講座・体育祭・修学旅行・文化祭・ゴミマスターズの撮影及び展示

茶道部

- 【部員数】 11名
【活動場所】 特別棟1階 作法室
【活動時間】 月曜日・木曜日
15時30分～17時30分
【活動状況】 本校の茶道部は「表千家」です。毎週木曜日には指導者の先生のもと、礼儀作法やおもてなしの心を学んでいます。例年ですと4月、お花見茶会のお手伝い(地域にある深田神社にて)に参加させていただくことから一年が始まり様々な行事に参加したり、実施したりしてきました。今年もまだまだ対外的な行事は縮小版で行われることが多くありましたが、感染予防に努めながら、いま自分たちにできることをしっかりやろうと日々お稽古に励んでいます。今年の秋は数年ぶりに文化祭において「お茶会」を開催することができました。これからも日々の練習に励み、和気藹藹とした雰囲気の前を頑張りていきたいと思っています。

料理部

- 【部員数】 1年9名 2年13名 3年7名 計29名
【活動場所】 第2調理室
【活動時間】 毎週火曜または木曜日16時～18時
【活動状況】 週1回活動をしています。部員で話し合っってメニューを決め、放課後に2時間程度簡単な料理やお菓子を中心に作っています。料理を通して人との関わり(チームワーク)や創作意欲等身につけることができます。昨年度はコロナや調理室の改装工事の影響で思うように活動できませんでしたが、今年度は部員を2グループに分けて別日で活動を行い三つを避けて活動しています。文化祭では、2種のスコーンを作り、学年の枠を超えて協力して販売しました。

手芸部

- 【部員数】 8名
【活動場所】 第2被服室
【活動時間】 木曜日放課後
【活動状況】 ぬいぐるみ・マスコット・キーホルダー・アクセサリ・巾着・刺繍作品など一人一人が好きな作品づくりに取り組みました。出来上がった作品は、10月の文化祭で展示発表しました。

美術部

- 【部員数】 8名
【活動場所】 美術室・工作室
【活動時間】 平日16:00～18:00
【活動状況】 4月に新入部員2名を迎え、秋の「みえ高文祭」を目指して作品制作に取り組んできました。専門的な指導者が不在の中ではありますが、部員どうしで助け合ったり、美術の先生に助言をいただいたりしながら、思いのこもった作品を仕上げることができました。「みえ高文祭」当日は展示や搬出などの大変さを経験しつつ、他校の作品に刺激を受けることもできました。また、その後に開催された本校文化祭では、2階渡り廊下に遊び心のあるデコレーションとともに作品展示を行いました。



着付け部

- 【部員数】 19名
【活動場所】 作法室
【活動時間】 水・金曜日 16時～17時
【活動状況】 浴衣、着物の着付けに取り組んでいます。文化祭ではマネキンに着付けし展示を行いました。

軽音楽部

- 【部員数】 80名
【活動場所】 軽音楽部室
【活動時間】 平日16時～18時
土曜 9時～12時
【活動状況】 大所帯ですが、部長中心に自分たちで活動内容を決め、目標をもって日々技術の向上を目指しています。今年の文化祭では再び皆さん

の前で演奏を披露することができました。

5月デビューライブ

6月サブバンドライブ

9月サマーライブ

12月ウインターライブ

3月自主企画ライブ

令和4年8月4日（木）東京総文軽音楽部門 出場



声優部

【部員数】 2名

【活動場所】 F31教室

【活動時間】 月～金 放課後1時間30分

【活動状況】 3年生が文化祭後に引退し、現在1年生2名で活動しています。部員が減り活動内容は限られますが、先輩たちの支えもあり毎日練習に取り組んでいます。発声や滑舌練習、早口言葉などの基礎練習から始め、アドリブ力を高める練習や台詞読み、筋力トレーニングなどを行っています。学校行事では、体育祭のアナウンスを務めさせていただきました。また、文化祭では本格的なアフレコのセットやマイク、プロジェクターなどの機材を使ってアフレコ体験を企画し、多くの方に体験していただくことができました。声優部の活動

内容を知っていただく良い機会となったと思います。活動内容にも制限があり工夫が必要ですが、これからも日々の練習に励み声優部として一生懸命頑張っていきたいと思います。

合唱部

【部員数】 女子5名

【活動場所】 特別棟4階商業準備室

【活動時間】 火曜日、金曜日 16時～17時

【活動状況】 月に1度外部講師の清水先生をお招きし、週に2回の練習を基本にして、行事前は可能な限り練習しています。発声練習からはじまって、それぞれのパートに分かれて練習し、その後は全員で合唱します。リズムを合わせて正しい音程で歌うこと、美しい響きを楽しむこと。日々努力の積み重ねです。

6月12日 三重県合唱祭 「小さな恋の歌」

10月29日 白子高校文化祭「ひまわりの約束」
「奏」「猫」

ボランティア部

【部員数】 20名

【活動場所】 校内：部室周辺校外：イベント会場

【活動日・時間】 放課後とイベントがある土日

【活動状況】 わたしたちはふだん、施設訪問、募金活動などさまざまな活動をしています。今年度は地域からの依頼やイベントの開催が増え、少しずつ校外で活動できるようになってきました。入学以来あまり活動できなかった3年生の思いもあり、特に夏休みはおよそ20日間校外に出向く等、コロナ前よりも活発に活動しました。文化祭ではチャリティージュース販売と募金活動を行い、6,874円を赤十字ウクライナ人道危機救援金に寄付しました。

2022年度の活動実績：JRC連絡協議会、千代崎海岸ビーチクリーン、JRCリーダーシップ・トレーニンセンター、シトラスリボンプロジェクト、児童センター見守りボランティア、外国につながる児童の宿題支援教室、献血啓発活動、スポGOMI甲子園（オリジナルアイテム賞）、しるこ夏まつり、鈴鹿おもいやりプロジェクト、青少年赤十字まつり他

書道部

- 【部員数】 1年4名 2年7名 3年3名
【活動場所】 書道室
【活動時間】 平日 毎日放課後17時まで
【活動状況】 主に書道展に出品するために作品制作をしています。自分で書きたい古典と書体を選び、作品に仕上げる過程は大変ですが、完成すると達成感があります。文化祭では書道パフォーマンスもやりました。今後は地域の皆様にも披露できるよう頑張っていきたいと思います。

*10月みえ高文祭 1月生徒教員展 他多数出品
書の甲子園 入賞 3年湯浅 優花
これからも心に響く作品を作っていきたいと思います！



新聞部

- 【部員数】 1年3名 2年6名 3年1名 計10名
【活動場所】 放送室を拠点に活動
【活動時間】 毎週火・金曜日に部会 随時取材
【活動状況】 コロナウイルス感染による行動制限が

緩和される中で感染防止対策に注意しつつ活動を続けています。取材は学校行事や部活動、生徒会活動など、校内を中心にすすめています。校外の活動としては、第46回全国高文祭東京大会に参加させていただきました。全国の高校新聞部と共に取材や制作活動をするなどの貴重な経験ができました。県内では第43回みえ高文祭の大会運営に活動する生徒役員として2名が推薦され、4ヶ月間県内文化部の高校生と活躍を共にしました。更に県内他校の新聞部と紙面編集の技量を高めるべく講習会にも参加しています。これらの経験を糧に今後も取材活動および紙面編集を続けていきます。

- 第46回全国高等学校総合文化祭東京大会参加
- 第43回みえ高文祭大会役員に2名推薦され活躍

吹奏楽部

- 【部員数】 男子23名 女子41名
【活動場所】 文化棟・特別棟
【活動状況】
9月24日(土) 三重県マーチングコンテスト
パレードコンテストの部 優勝 山田杯
10月1日(土) 中部日本吹奏楽コンクール本大会
小編成の部 銀賞
10月15日(土) 東海マーチングコンテスト 銀賞
11月12日(土) 第24回全日本高等学校吹奏楽大会 in 横浜 審査員長賞
11月13日(日) 2022日本管楽合奏コンテスト
全国大会S部門
文部科学大臣賞・最優秀グランプリ賞(最高位)
12月11日(日) 第54回定期演奏会 開催

